

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成24年10月17日 午後7時00分から午後9時05分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員、飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、金子隆博委員、北沢賢二委員、清住洋子委員、児島八重子委員、塩之入安男委員、滝沢修司委員、滝澤由美子委員、竹内明美委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、樋沢みどり委員、森美由樹委員、柳沢裕子委員 【欠席委員】1名
5	市側出席者	伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、牛山市民生活課長、児玉産業観光課長兼建設課長、北沢健康福祉課長、掛川武石教育事務所長、滝沢武石上下水道課長、佐藤地域政策係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成24年10月31日 作成部局課名 地域振興課地域政策係
協議事項等		
1	開会(柳沢副会長)	
2	<p>会長あいさつ(上野会長)</p> <p>雨の中ご苦労さまです。実りの秋ということで農家の収穫のほうも進んでいることと思う。また、ササ狩りにご参加いただいたみなさん大変お疲れさまでした。石黒副市長のあいさつの中で、公園化構想の一環であるというお話もいただいた。提言した以上は地域協議会でも協力していかないといけないと思う。引き続き来年以降もご協力いただきたい。今日は雲溪荘について、意見は決まったといっても細かい内容を詰めていかないといけないといけない。引き続きよろしくお願ひしたい。</p>	
3	<p>協議事項</p> <p>(1) 雲溪荘について</p> <p>(会長) 議事の前に「雲溪荘存続に関する要望書(案)」の原案の説明を事務局から説明されたい。 【事務局から説明】 【質疑・意見等】</p> <p>(委員) 要望書は市長に提出するものなのか。地域協議会は市長に諮問されたものだと思っていた。また、要望書を出せばこれで地域協議会としての役割は終えるのか、それとも民間も入れながら営業努力するなど今後の運営についてまで言及するのか。</p> <p>(センター長) 諮問ではない。今まで市は住民に経営状態について言及してこなかった。地域協議会を通じて2年前から実態を説明してきた。その中でこのままにしておくのはまずいという話になった。</p> <p>(委員) 焦点がよく理解できない。先々のことを考えるともっと必要かなとも思う。</p> <p>(センター長) 現在までの要望をまとめると、この案であるな、とは思うが、正直これで終わってしまっは困る。前回の結論では雲溪荘はやる(存続する)よう要望して行く、ということで決定した。細かいことについては分科会を作ってそれぞれに検討しよう、ということになったと私は判断している。</p> <p>(会長) 要望書はこの段階で出してしまうてもよいのか。</p> <p>(センター長) これはあくまでも地域協議会としての要望書なので自分には(行政側では)答えられない。自分たち(協議会)で決めていただきたい。</p> <p>(委員) 個人でやってみたいといっている人がいて、光が見えてきたような気がしている。この方は別荘(美しの国)の方である。経営については素人なので、現在、滝澤先生(中小企業診断士)に教えていただきながら研究しているところ。要望書については漠然としていてよく分からない。</p>	

- (委員) 要望書として今回出されるということだが、これについていつ回答があるのか、それに対してどういう段取りで対応していくのか、時期的なものが見えない。やるやらないの回答がいつ出るのか分からなければ期限があるのに対応できないではないか。
- (委員) 9月にやらなければ地域予算が間に合わないということで急いでやったと思うが、そこら辺のことも良く分からない。
- (事務局) 予算についてもだが、指定管理の期限を迎えるということで検討していただいた。
- (センター長) 分かっていることと分かっていないことを整理すると、来年25年の4月から26年の3月まで事業団が指定管理をするということは決まっている。その次の議論をいつから始めるか、については、大体来年25年の4月頃から始まる。いずれにしろ指定管理をやるのかやらないのかは判断しなければならない。地域協議会でこれだけの議論をしてこういう方向で考えている、と言えるようにしたい。
- (委員) 雲溪荘存続で要望ということにはなった。指定管理をするかどうか、運営も考えた上でいくつかのパターンを考えて案を提出すれば良いのか。
- (センター長) 地域でもこれだけの盛り上がりがあってという動きが必要かな、とは思う。
- (会長) 私としては、まずは要望書を完成させたい。さらに今後とも雲溪荘については小委員会という形で引き続き検討していきたい。
- (委員) 25年4月から議論が始まるとすれば、その前に第2第3の要望書を出すという形でも良いのではないか。
- (委員) 放っておくと先細りになってしまい、いずれは廃止になってしまうかもしれない。そうならないように今後も要望書を出して行くなりしていかなければならないと思う。
- (委員) 要望書はこの時点で出さなければならぬと思う。すでに新聞等で出すと報道されているし地域住民もそのつもりでいる。この要望書の内容では武石住民の熱意が感じられない。通り一遍な感じ。心意気のようなものも入れるべきだ。
- (委員) 残す、ということは決まったのだから要望書を出すのは当たり前だと思う。ただ、具体的なこと、動きが入っていないと思う。
- (委員) 7割の人が賛成した熱意が入っていない。内容が暗いと思う。
- (委員) 内容に熱意が感じられないので、これでは市は動いてくれないのではないか。
- (会長) 皆さんの意見をまとめると、心意気を見せてほしいということにはよくわかった。
- (委員) 自治会の中で自分は雲溪荘についていろいろ意見を聞くようにしている。みんなで盛り上げようとして利用にも繋がっている。武石を出ている人たちも心配している。アンケートの中の文面も要望に入れたらどうか。
- (委員) 地域協議会で議論している間、利用者数に変化はあったか。
- (センター長) 利用者数にあまり変わりはない。もう一度要望書について事務局で作りかえてみる。それから地域の盛り上がりが本当に出てくるのか見る。
- (委員) 地域で活用したとしても、サービスが悪かったら盛り上がりにはつながらない。事業団の努力が必要なので、事業団も地域協議会に来てほしい。
- (会長) 情報を流して事業団にも改善してもらええることについては改善していただく。要望書については再度事務局に作成していただくということでもよろしいか。

・委員了承

(2) 今後の協議の進め方について

- (会長) 雲溪荘以外についても問題があれば検討しなければならない。何か議題等あるか。武石オフトーク通信と公園化構想については引き続き検討課題として良いのではないかなと思う。
- (委員) 公園化構想からんで、夏場のスキー場についても人が来るようにできるのか。せっかく場所があるのにもったいない。協議会で取り上げなければ、きっとこのままになってしまう。
- (事務局) 関連して、斜面にコスモスの種を蒔いたりした。シカが入ったので電機柵を設けた。コスモスは見られる状態になったが一度に咲かないので見応えに欠けた。来年度も予算計上していく予定。
- (委員) 今後、スキー場をどのように活用していくか検討も必要だと思う。自分は公園化構想の一環として、きのこの原木を使ってみたらいいのではないかなと思う。
- (会長) 市内に全部で9つの協議会がある。それぞれ3～4つ位の課題をかけて協議を進めている。丸子ではまりんこ号などについて検討している。武石ではどのような課題があるか。

- (委員) わがまち魅力アップ応援事業について、3～5年間補助があるが、予算をちゃんと使っているのか。最初の初期費用だけであとはお金を使うことはあまりないのではないか。この間配布された冊子をみると、無理しているなあ、と感じた。
- (会長) これについては丸子地域から要望書が出ている。5年間で150万に達しなかった場合、年度を延長しても良いのではないかというような内容だった。
- (事務局) 来年度、要綱の変更を検討中。
- (委員) 武石公園の利用について、公園化構想や信州せいしゅん村での利用の機会が増えた。七ヶ自治会はトイレの設置等考えている。武石地域として要望書を出すなどした方が良いか。
- (センター長) 自治会でトイレ設置は難しいと思う。やるなら協議会で要望書を出した方が良くと思う。獣害対策についても全部含めて公園化構想と考えても良い。
- (会長) では、雲溪荘と公園化構想と武石公園の3つの協議ということではよろしいか。
- (委員) 武石公園については公園化構想に含めても良いのではないか。
- (会長) では、雲溪荘と公園化構想の2つということではよろしいか。よろしければ、他地域では専門部会に分かれて協議している。部会に分かれて検討という方式でも良いか。
- (委員) できたら全員協議の方が良い。専門ではないからよく分からないし、他方の協議が見えないのは良くない。
- (会長) 他の地域協議会では部会に分かれた方が小回りが利いてよかったという意見もあった。
- (委員) 少子化対策について提案したい。クラス数が減っている。自分の子どものクラスでは7人も転出してしまった。定住化対策等検討が必要だと思う。
- (委員) 現役の人たち(子育て世代)が意見を出していけば盛り上がると思う。
- (委員) 武石小学校活性化委員会などで。
- (委員) 青木村では村で空き家を借り上げて安く貸している。空き家の状況を活用して、地域へ人を呼び込む。
- (委員) アパートを建てるなど対応してはどうか。武石地域には、独身の男性が多い。まず、そこを何とかしてはどうか。
- (会長) では、雲溪荘・公園化構想・少子化の3つということではどうか。形態はどのようにして行うか。20人で3グループに分かれると人数が少ないか。とりあえず分科会に分かれるということではどうか。
- ・委員了承
- (会長) その他に意見などありますか。
- (委員) 美ヶ原ササ狩りについて、協議会からの参加者数の少なさに驚いた。言いつばなしはいけない。言った以上みんな参加しなければならないんじゃないか。
- (委員) そもそもササ狩りは公園化構想の一環なのか。
- (委員) もともとそういう考えはなかった。何でもかんでも公園化構想と結び付けられても、とは思いますが内容からいえば一環だと思う。
- (会長) とにかく、次回は分科会に分かれるということにしたい。内容については事務局と検討したい。

4 その他

(1) 次回会議の日程等について

- ・協議の結果、11月19日月曜日、午後7時から9時までと決定する。

(2) その他

【事務局からお願い】

- ・平成24年度第2回議会報告&意見交換会の開催について

(会長) 皆さんから他に何かありますか。

(委員) 自治会配布について、自治会を通じてない方はいるか。

(事務局) 美しの国別荘地と沖地域のアパートに住んでいる方の他は、今はいないと思う。

(会長) スポーツクラブ主催「第2回たけし運動会」について、盛大にできました。ありがとうございました。

5 閉会(柳沢副会長)

